

# 令和7年度 学校自己評価（後期）

中津市立豊田小学校

## 1 学校の教育目標

ことばを大事にし、いつでもどこでもだれとでも高め合う豊田っ子を育てよう！

## 2 育成を目指す資質・能力

コミュニケーション能力

## 3 重点目標・達成指標、重点的取組等

評価判断基準	
A	…達成率90～100%
B	…達成率70～89%
C	…達成率60～69%
D	…達成率60%未満

生きて働く知識・技能の習得

思考力・判断力・表現力の育成

学びに向かう力、人間性等の涵養

働き方改革の推進

重点目標	達成指標	重点的取組	取組指標	評価	◇〔成果と課題〕、及び ★〔次期（次年度）に向けての（取組）〕	
基礎・基本を身に付ける 子どもの育成	①国語・算数の単元テスト【知・技】の平均80点以上 ②『児童アンケート』の重点的取組に関する項目でA評価65%以上 ③「市学力状況調査」、国語、算数の知識領域で全国値超え60%以上	学校	◆主体的な学びを育てる「みんな活躍授業」の日常化	◆授業者が算数の授業において、既習事項を振り返ったり、キーワードを提示したりすることで考えの見通しを持つ場を設定する。	A	◇実施率が95%であった。おおむね、どの学級でも、考えの見通しを持つ場を設定出来ている。 ★【付加して継続】算数の授業において、考えの見通しを持つ場を設定するとともに毎時間、練習問題に取り組み時間も設定する。 ◇実施率は2学期末100%から変わらず100%。児童アンケート「ろうかへ歩いている」肯定的評価が83%で2学期末（72%）より11pt高くなっていた。 ★【継続】教員の実施率も児童アンケートの肯定的評価も100%を目指す取組をおこなっていく。また、児童アンケートを毎月実施する。 ◇第2回目（11月）のアンケート結果によると実施率は41.7%で第1回目（6月）の実施率（41.2%）からさほど変化は無かった。 ★【継続】次年度も「ノースクリーンタイム」の良さ等を家庭に周知する等して、ノースクリーンタイムの実施を全家庭に広げていきたい。
		学校	◆「とよだのきまり」を守る意識の育成	【3学期】 ◆全教職員は「ろうかや階段を静かに歩く」を徹底させるため、学級指導と合わせて、他学年の児童でも必ず声をかける。	A	
		家庭	◆学校と連携した家庭学習習慣の定着	◆ノースクリーンタイムを実施する ※家庭学習カードで家庭学習の取組状況を学期始め・終わりにチェックし、ほめたり、励ましたりする	D	
		地域				
相手や状況を考え 思いを伝え合う 子どもの育成	④国語・算数の単元テスト【思～表】の平均70点以上 ⑤『児童アンケート』の重点的取組に関する項目でA評価60%以上 ⑥「市学力状況調査」、国語、算数の活用領域で全国値超え60%以上	学校	◆協働的な学びを育てる「みんな活躍授業」の日常化	◆授業者が算数の授業において、聞き方「あいうえお」話し方「かきくけこ」を意識（常時掲示）させた「グループ（ペア）学び」の場を毎時間設定する。	C	◇実施率は65%（2学期末）から75%に増加。児童アンケート「進んで考えを聞いている」「考えを伝える～出来ている」肯定的評価は90%・86%だった。 ★【継続】算数の授業において、聞き方・話し方（常時掲示）を意識させた「グループ（ペア）学び」の場を毎時間設定する。 ◇実施率が2学期末（85%）から88%に微増し、児童アンケート「～言葉遣い」の肯定的評価も84%で2学期末（81%）より高くなっていた。 ★【継続】「あいさつ」「～言葉遣い」の指導、取組状況の振り返り、児童アンケート（毎月）を実施する。 ◇機会（PTA、CS、校区ネットワーク会議、公民館運営委員会、学校ホームページ、すぐる等）あることに声掛け（周知、様子）してきた。 ★【継続】今後も機会あることに声掛けをおこなっていく。
		家庭	◆相手を思いやる気持ちの育成	【3学期】全教職員は ・「相手のことを考えた言葉遣い」の大切さを適宜指導する。 ・「言葉遣い」を帰りの会で振り返る場を設定する。 ・あいさつの大切さ（意義）を適宜指導する。	B	
		地域	◆家庭・地域でのあいさつの推進	◆家庭・地域でのあいさつを声かけし、あいさつができた場合はほめる。	未調査	
共に学び共に行動できる 子どもたちの育成	⑦『児童アンケート』で「めあてを持って学習した」「調べ学習ができた」等に関する項目でA評価60%以上 ⑧『児童アンケート』で「みんなと一緒に学習して楽しかった」など協働的な学習に関する項目でA評価60%以上	学校	◆生活科・総合的な学習の時間を中心にした協働的な学習の推進	◆授業者が生活科・総合的な学習の時間に、互いの考えを伝え合う場を設定する。	B	1年＊見守り 2年＊校区探検 3年＊祭り・校区探検 4年＊中津干潟 5年＊手縫い 6年＊ミシン縫い ◇実施率が81%で増減は無かった（2学期末81%）。 ★【継続】生活科・総合的な学習の時間、互いの考えを伝え合う場を設定する。 ◇2学期末実施率は94%だったが、14ptも減少して80%であった。 ★エクササイズの説明や実施時間を十分保障して振り返りまで確実に行うのは10分では厳しいのかもしれない。振り返りを確実に実施するために工夫が必要である。 1年＊昔の遊び 2年＊公民館 3年＊ひよっこ踊り 4年＊中津干潟 5年＊ものづくり 6年＊街並み探検
		学校	◆自己の取組状況や変容を実感させる場の保障	◆運動会練習後や人間関係づくりプログラム後に取組状況を振り返る場を設定する。	B	
		家庭				
		地域	◆地域（生活、歴史、文化、課題等）の伝承の推進	◆ゲストティーチャー等で児童との関わりがある場面では積極的に地域や地域に関連する情報を伝える	A	
MSGの徹底	⑨校務にかかる時間が確保できた70%以上 ⑩定時退庁日が完全実施できた80%以上 ⑪『学校アンケート』で「支援できた（地域、家庭）」70%以上	学校	◆校務分掌や会議、行事の見直し、改善	◆随時、状況（分掌業務、時間配分、議題等）を検証し、分掌業務、会議等を効率的に実施する。 ◆行事毎に振り返りを行う（改善Ver.の保存等）。	A	◇随時、状況を検証し、分掌業務、会議等を効率的に実施し、行事毎の振り返りも行っている。 ★【継続】今後も、随時、状況を検証し、分掌業務、会議等を効率的に実施し、行事毎の振り返りもおこなっていく。 ◇実施率が85%（2学期末）から87%に微増した。 ★【改善策を講じて継続】3学期に改善策を2つ「隔週金曜日6時間目カット」「水曜日午前5時間授業」試行した。校務時間の確保、定時退庁日完全実施に向けた成果と課題が明確になったので、今後の取組に繋いでいきたい。 ◇3学期も各学年の校外活動の見守り、そろばん指導サポート、縄跳び台（作成予定）等のご協力をいただいた。 ★【継続】次年度も様々な支援活動の実施に向けて、必要に応じて呼び掛けをおこなっていく。
		学校	◆定時退庁日（金曜日）の完全実施	◆タイムマネジメント（優先順位等）を実施する。 ◆毎週の定時退庁日に声をかけあう。 ◆定時退庁に向けた改善策（時程表の変更）講じる。	B	
		家庭・地域	◆学校の教育活動、児童の安心・安全、環境整備の支援	◆学校運営協議会のもと、地域（スクスクプロジェクト）、家庭（PTA）が協働し、学校の支援体制を整備しながら、支援活動を実施する。	A	